

関東圏初！ガス減圧時の未利用エネルギーを活用 CO₂低排出の発電システムが沼南供給所に完成

当社の沼南供給所（柏市大島田）に都市ガスの圧力エネルギーを活用した発電システムが完成しました。10月7日、関係者を招き竣工式を執り行いました。

京葉ガスは、高い圧力の都市ガスを段階的に減圧し、所定の圧力に調整してお客さまのもとへお届けしています（ ）。

高圧の都市ガスを受け入れている当社の沼南供給所は、導管に設置されている整圧器（ガバナ）を用いて中圧まで減圧し、供給しています。

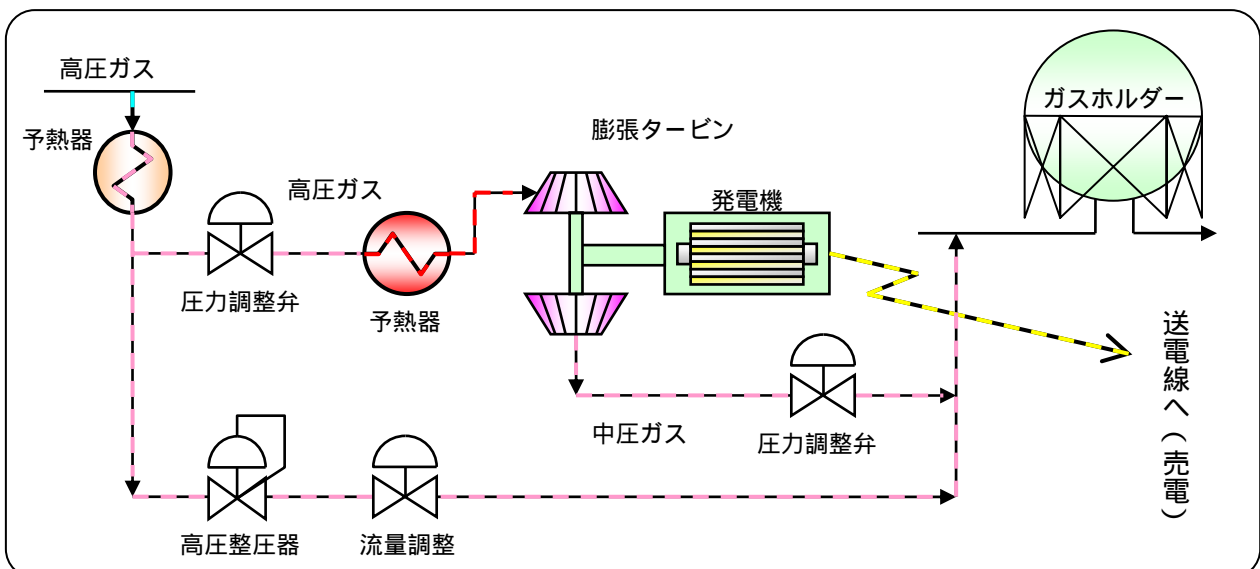
これに加えて新たに稼動したシステムは、これまで未利用の、高圧から中圧に減圧する際の圧力エネルギーによってタービンを回転させ、発電（最大出力830キロワット）するものです。未利用エネルギーを活用するため、二酸化炭素（CO₂）の排出が極めて少ない環境に優しい発電システムです。

発電した電力は供給所内で消費するとともに電気事業者へ売電（販売）します。ガス事業を行いながら、このようなシステムを用いて売電するのは関東圏では初めての事例です。

完成を記念し10月7日、同供給所に環境省や柏市などの関係者を招き、竣工式を執り行いました。

1メガパスカル以上を「高圧」、0.1メガパスカル以上1メガパスカル未満を「中圧」と呼びます。また、ご家庭への供給圧力は、さらに低い圧力の「低圧」です。

【発電システムフロー図】





設置したタービン発電機